

## EuCOMC2017 およびオランダでの活動報告書

M2 星野 舜

2017年7月9-13日の間、EuCOMCへ参加をした。この学会は国際学会であるが、ほとんどがヨーロッパの研究者であり私たちのように日本から来る人は稀である。事実、私を入れて6人程度しかいなかった。しかし、内容は有機金属化学であり、特に当研究室でも行っているN-ヘテロサイクリックカルベン(NHC)を用いた金属錯体が多く見受けられたのが印象的であった。やはり、注目したのはAlbrecht教授の講演およびAlbrecht研のポスターであった。学生の方とお話をさせてもらったが、私の質問に対して真摯に答えときには、自身の研究の欠点であっても隠さず伝えてくれた。また、データ量もそうだがそのテーマにおける重要なデータ、素晴らしいデータはしっかり押さえているあたり流石だなと感じた。ぜひ見習いたい。

オランダの国民的料理と言えれば何かと言えれば私は何も答えることができない。せっかくならオランダ料理を食べてみたいと現地でお店を探したところ、見つけることができたのはこの料理。その名もパンケーキ(左)。パンケーキと言え、ふっくらしたものをイメージするが、これはどちらか



というクレープであった。帰国後調べたところ、オランダ料理というものはあまりないとのことで、現地には確かにステーキ屋や日本食、中華など親近感の湧くようなお店が多かった印象がある。しかし、チーズは有名であり、確かに、お土産にチーズをその辺のスーパーで買ったが美味しかった。(しかもすごく安価で量が多い)

オランダと言えればミッフィー。しかし、現地では子供人気ほとんどで、ミッフィーグッズを売ってるお店はほとんど子供向けのおもちゃ屋だった。なんだかんだ空港が一番品揃えがよかった。また、街中にはミッフィーがいる(右)。違和感がものすごいが、現地ではこのようにミッフィーを下地に独自のペイントを施した一種のアート(?)が多く存在し、お土産でもこのようなものが中心であった。(私調べではあるが)ゴッホなど有名画家がいる所為か、このようなアーティスト的なことまで平気でしてしまうのだからすごい。



以上でEuCOMC2017およびオランダでの活動報告を終わる。学会参加という機会によりオランダに行くことができ本当に幸運であったと思える素晴らしい国であった。新婚旅行などで機会があればぜひもう一度行ってみたい(飛行機は疲れるが)。